

査読チェックリスト

一般社団法人日本環境教育学会 編集委員会

査読者と担当編集委員は、査読にあたって以下の項目をもとにチェックしてください。研究論文・総説・研究報告・論説を投稿される方は、これらの項目にそって査読等が行われることを念頭に置いて原稿を作成してください。

1. 投稿区分と倫理規程について

(1) 以下の投稿区分に沿った内容になっていること。

- ・ 研究論文…独創的な理論研究や、教育実践・教材・教具・制度等に関する独創的な経験的研究。経験的研究については、仮説の検証・生成あるいは得られた知見の一般化を行っているもので、目的・方法・結果・考察（結論）・引用文献等の内容により構成される。
- ・ 総説…研究・教育実践・思想等に関する特定の分野を系統的・体系的にレビューし、現在の到達点や課題の整理などを含めた評価・展望を行っているもの。
- ・ 研究報告…実践・実験の記録および動向などに関する報告で、研究論文に準じた体裁をもつが、一般化のための考察や普遍的課題の追究より事例そのものの分析や論考等に主たる価値を置くもの。
- ・ 論説…環境教育に関わる研究・活動・制度等についての紹介や解説・主張を行うもの。

(2) すでに出版・公開されている研究に使用したデータを用いて類似する論旨を展開する場合は、投稿時にその旨を送り状（journal_invoice）に具体的に記入し、二重投稿等に当たらないことの確認を受けること。

(3) 日本環境教育学会が定める倫理規程に従っていること。

2. 査読内容について

(1) 査読者は、以下を目安に審査すること。なお、以下の A は全ての投稿区分に共通のものとし、研究論文と研究報告の場合はそれぞれ B と C を加えて審査すること。

A. 全区分共通の項目

適切 - やや不足 - 不足

- - ①環境教育との関係性が述べられている。
- - ②研究の意義が先行研究を踏まえて明確に述べられている。
- - ③論理構成が明確であり、飛躍や欠落がない。
- - ④レビューしていない先行研究を結論に使用していない。
- - ⑤フォント、サイズ、行数、文字数、その他のスタイルは原稿執筆要項に従っている。

- - ⑥本文中に引用した文献は、すべて文末に引用文献として掲載している。
- - ⑦特別な場合を除き、統計分析を行う研究の場合は「統計の記述に関するガイドライン」（別紙）に沿っている。
- - ⑧学会の倫理規程に従っている（例えば、プライバシーや人権保護、外来種の扱いを含む動物や生態系への配慮、調査にまつわる説明や同意、ねつ造・改ざん・剽窃、著作権侵害に関して問題がないか、等）。
- - ⑨投稿区分が適切である。

B. 研究論文の場合の追加項目

適切 - やや不足 - 不足

- - ⑩研究課題（問い）や仮説および、それらの必要性が十分に述べられている。
- - ⑪先行研究のレビューが十分になされている。
- - ⑫内容・手法・結論に独創性や新規性がある。
- - ⑬（経験的研究の場合）調査者・参加者・調査を実施した状況や環境などについて述べられている。
- - ⑭（経験的研究の場合）データのサンプリングや処理の方法などが述べられている。
- - ⑮（経験的研究の場合）追試や検証が可能なように研究の手順が述べられている。
- - ⑯（経験的研究の場合）方法論が研究目的に対して適切である。
- - ⑰（経験的研究の場合）結論を述べるにあたって必要な分析結果が示されている。
- - ⑱考察は論理の矛盾や飛躍がなく、先行研究と結果を踏まえて述べられている。
- - ⑲研究の限界や課題、今後の方向性などについて述べられている。
- - ⑳研究結果の過度な一般化を行っていない。

C. 研究報告の場合の追加項目

適切 - やや不足 - 不足

- - ⑩過去の類似する実践報告や関係する理論などの先行研究が十分にレビューされている。
- - ⑪（経験的研究の場合）調査者・参加者・調査を実施した状況や環境について述べられている。
- - ⑫（経験的研究の場合）追試や検証が可能なように実践等の条件や手順が述べられている。
- - ⑬（経験的研究の場合）実践内容が時系列に沿って過不足なく述べられ

ている。

- - ⑭学校教育における実践上の意義を論じる場合は、その実践等を含む単元全体の指導計画と指導案等が示されている。
- - ⑮（経験的研究の場合）方法論が研究目的に対して適切である。
- - ⑯（経験的研究において、一部の質的研究などの馴染まない場合を除き）結果とその解釈が、事実と解釈という形で分けて述べられている。
- - ⑰一般化や普遍的課題の追求よりも報告的内容が中心となっている。
- - ⑱実践等から得られた課題や今後の方向性などが述べられている。

(2) 査読者は、チェックした部分については以下の例のように修正意見か参考意見かを明記してコメントすること。

例. 研究論文の場合

- - ⑮追試や検証が可能なように研究の手順が述べられている。

<修正意見>

●ページ○行目

本論文では、実験結果について分析していますが、実験の手順が示されていません。この点は、査読チェックリスト⑮に関係しますが、どのようなやり方で実験したのかがわかるように記述してください。同様に、▲ページ▽行目の部分も加筆してください。

2022年 ○月 ○日改訂